

SSW便り 東広島市立松賀中学校

保護者の皆様へ No, II

スクールソーシャルワーカー岡野より

令和4年11月21日(月)

短い秋を楽しんでいらっしゃいますか？私は船釣りが趣味なので、魚で季節を感じています。先日はサワラが釣れました。漢字では鱈と書くのですが、瀬戸内海ではこの時期に釣れるのです。さっそく炙りにしていただきました。



さて、スクールソーシャルワーカーとして松賀中学校区での勤務が半年過ぎました。東広島市の地域性が少しずつわかり始めたところです。スクールソーシャルワーカーは、本人の責任ではないのに安心して学校生活が遅れていない児童生徒を支援します。支援するのは主に次のようなケースです。

【 不登校 いじめ 暴力非行問題 友人関係 家庭環境 教職員との関係 指導虐待 経済的困窮 発達障害 ゲーム依存 その他 】

子供達は学校に通っているのに、こんな問題も学校が解決できると思いがちですが、先生たちは教育のプロであって福祉のプロではないので難しいこともあります。

そこで、困りごとを福祉のプロに繋いだりして解決を目指すのがスクールソーシャルワーカーです。

例えばこれまでに繋がった福祉関係機関は次のようなところです。

【 西部こども家庭センター こども家庭課 地域共生推進課 はあとふる 医療機関 社会福祉協議会 未来塾 スクールS フレンドスペース 児童青少年センター 通信制高校 フリースクール 放課後デイサービス 教育関係機関 】

SSWはどこに相談したらよいか一緒に考えて解決に向けて伴走します。(勤務は月火) 松賀中学校にご連絡ください。SSWは学校から出向いてお話を聞くことができます。

学校に知られたくない場合は直接電話で相談してください。

『こども家庭課』 主に子育ての困りごとの相談窓口 082-420-0407

『地域共生推進課』 主に障害福祉や困りごとについて 082-493-5621

『スクールS』 不登校に関する広島県教育支援センター 082-428-7110

※裏面にはゲーム依存症について書きました。ぜひお読みください。

ゲームに依存させる巧みな6段階の罠

ゲームを開発して流行らせてお金を得たい人たちがいます。私はこの人たちがゲーム依存症をつくり、不登校をつくり、多くの引き籠り人生をつくっていると思っています。

巧妙に仕組まれた依存させるための罠の一例を紹介します。

1つ目の罠 何とんでも**無料ではじめることができるという罠**です。

2つ目の罠 まずアプリをダウンロードしたらチュートリアル（説明）を読みます。するとアイテムをゲットしてゲームキャラを手に入れることができるようになっていて、そこに**リセットマラソンという罠**が用意されています。

アプリを削除し再度ダウンロードして同じ手順でまたゲームキャラを手に入れることを繰り返します。やればやるほど無料でどんどんゲームキャラ（レアなキャラ）が手に入るという罠です。スマホゲーム会社は利用者がリセットマラソンしてくれると、ダウンロード回数が増え人気アプリランキングで上位に入ることができて宣伝になるという仕組みです。

3つ目の罠 ゲーム序盤は楽しく快適にゲームが進み、課金しなくてもボーナスポイントがついてきます。

さらにゲームを進めるとボーナスがつかなくなり**最初の課金のささやき**が始まります。

「2000円分のボーナスがなんと今だけ100円」というふうに・・・

こうなると課金すればするほどゲームを優位に進められるので、オンラインのチーム戦ではチームの勝利のために課金が必要だと考えるようになります。

4つ目の罠 スマホゲーム会社がつくった**時間回復制という罠**は、人間の心理を実にうまくついています。いつでもどこでもゲームができない仕組みで、ゲーマーは「やれる時には確実にゲームをやらない」という心理に追い込まれます。

さらに、「30分に1回しかできない」「5回分まではためておける」と制限をかけたことで、ますます**「他のことは置いて、やれる時には確実にゲームをやらないといけない」**と思いつまむように仕組まれています。

5つ目の罠 **連続ログインボーナスという罠**は毎日連続してゲームにログインするとボーナスがつくという、まさに依存させるためのルールです。**ゲームをしない日があると、「今までの努力が水の泡と消えてしまう」**と考えさせるのです。

6つ目の罠 スマホゲーム会社はさらに**マラソンイベント**を仕組むことがあります。会社主催のイベントなので、**超レアアイテム**が手に入るなどの特典があります。ゲーマーは**3日間不眠不休**でポイントをとるためにゲームを続けることもあるそうです。

